

## 国立大学図書館協会 平成 24 年秋季理事会議事要旨

日 時：平成 24 年 11 月 13 日（火） 14：00～17：10

場 所：九州大学附属図書館新館視聴覚ホール（箱崎キャンパス）

出席者：別紙のとおり

### 1. 開会

古田会長（東京大学・館長）から、10 月 1 日付の京都大学の館長交替に伴い、引原新館長が国立大学図書館協会副会長に就任したことの紹介があった。続いて、文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室の首東大学図書館係長、国立情報学研究所学術基盤推進部の尾城次長、鈴木学術コンテンツ課長、熊渕図書館連携・協力室長にご出席いただく旨、紹介があった。

### 2. 会長挨拶

古田会長（東京大学・館長）による開会の挨拶が行われた。

### 3. 前々回及び前回議事要旨の確認

古田会長から、第 59 回総会（H24. 6. 21・ANA クラウンプラザホテル）議事録は既にご承認いただき協会ホームページに掲載済みである旨説明があり、新理事会（24. 5. 18・東京大学）及び総括理事会（H24. 6. 21・ANA クラウンプラザホテル）の議事録（案）について、朗読は省略するが、会議終了までに訂正等があれば申し出ていただきたいとの説明があった。

### 4. 報告事項

#### (1) 第 59 回総会等について

当番地区の理事館である京都大学・栃谷事務部長から、配付資料（No. 1）に基づき、総会全体に関する報告及び収支報告があり、来年度の総会運営の参考とすることとなった。

続いて、古田会長から、総会ワークショップ報告については、企画担当館に議事要旨（資料 No. 2-1, 2）をまとめていただいているので、お読みいただきたいとの説明があった。

#### (2) 各委員会等報告

##### 1) 総務委員会

東京大学・田中事務部長（総務委員会委員）から配付資料（No. 3）に基づき、海外派遣事業の平成 25 年以降の実施について、ICOLC 会議への職員派遣について、協会の組織、機関、会則等の見直しについて等の検討経過について報告があった。また同委員会からの提案事項については後ほど協議をお願いしたい、との説明があった。

## 2) 人材委員会

東北大学・井上事務部長（人材委員会委員）から配付資料（No. 4-1～2）に基づき、本年度の会議開催状況、第8回マネジメント・セミナーの開催、及び平成24年度海外派遣事業の実施等について報告があった。

## 3) 学術情報委員会

京都大学・栃谷事務部長（学術情報委員会委員）から、配付資料（No. 5-1～2）に基づき、委員会の活動内容について報告があった。設置期間満了により本委員会に統合された「学術情報流通改革検討特別委員会」担当の任務の継承、学術情報流通の在り方と大学図書館が果たすべき役割等についての調査検討、GIF（Global ILL Framework）プロジェクトの評価と運用支援体制の整備、学術情報の利用と保存に関する検討について説明があった。また、学術情報流通セミナーの開催について報告があった。

## 4) 教育学習支援検討特別委員会

名古屋大学・佐野館長（教育学習支援検討特別委員会委員長）から、配付資料（No. 6-1～2）に基づき、本年度の会議開催状況、教育課程と連携した教育学習支援の新たなニーズと方策の調査計画の検討、及び平成24年度国立大学図書館協会シンポジウム「ラーニング・コモンズ再考」の開催について報告があった。

## (3) 地区助成事業申請状況報告

事務局（東京大学・高橋総務課長）から、配付資料（No. 7）に基づき、平成24年11月13日現在の申請状況について報告があった。

## (4) 各地区協会報告

特になし。

## (5) 国公立大学図書館協力委員会報告

筑波大学・内島情報管理課長（国公立大学図書館協力委員会常任幹事館）から、配付資料（No. 8）に基づき、国公立大学図書館協力委員会の活動内容について報告があった。連携・協力推進会議の下に設置する総合目録DB強化に関する委員会の発足、機関リポジトリによる知の発信システム構築に関する委員会の設置検討、SCOAP3、及び「東日本大震災アーカイブ」の構築に関する国立国会図書館から大学図書館への協力依頼等について説明があった。

(6) 日本図書館協会関連報告

筑波大学・内島情報管理課長（国公立大学図書館協力委員会常任幹事館）から、配付資料（No. 9）に基づき、日本図書館協会大学図書館部会の活動内容について報告があった。大学図書館シンポジウム、協会の運営状況について等について説明があり、特に協会の債務問題、財政再建計画に関して意見交換があった。

(7) SCOAP3 について ～状況報告～

国立情報学研究所学術基盤推進部・尾城次長から、配付資料（No. 10）に基づき、SCOAP3 の状況と当面の課題について報告があった。また、東京大学・木下情報管理課長（SCOAP3 タスクフォース主査）より補足の説明があった。

(8) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）報告

国立情報学研究所学術基盤推進部・熊淵図書館連携・協力室長（大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）事務局）から、配付資料（No. 11）に基づき、当連合の活動内容について報告があった。新体制への移行、来年度の契約に向けての出版社交渉の進捗状況、及び広報誌『jusmine』等について説明があった。

(9) その他

特になし。

5. 協議事項

(1) 今後の海外派遣事業等の実施について

東京大学・高橋総務課長（総務委員会事務局）から、配付資料（No. 12-1）に基づき、平成 25～27 年度の本事業の実施について提案があり、審議の結果了承された。このことを踏まえ、東北大学・植木館長（人材委員会委員長）から、配付資料（No. 12-2）に基づき、「海外派遣事業実施要項」「海外派遣事業応募要領」の改正を含む平成 25 年度以降の海外派遣事業の枠組みについて提案があり、了承された。

(2) ICOLC 会議への職員派遣について

東京大学・高橋総務課長（総務委員会事務局）から、配付資料（No. 13）に基づき、今後の ICOLC 会議への職員派遣に関する基本的考え方について提案があり、了承された。

(3) マネジメント・セミナーのあり方について

東京大学・古田館長（総務委員会委員長）から、9 月 13 日の総務委員会にてマネジメント・セミナーについて開始当初の趣旨も踏まえて再評価の必要があるのではないか、との問題提起を受けて、総会のワークショップ等も含めて意見交換を行いたい、との発言があった。配付資料（No. 14-1～2）に基づいて意見交換を行い、「マネジメント・セミナーの当初の趣旨は、図書館業務に馴染みのない館長・管理職の方が、業務に関連する

知識を得る場を提供するというものであった。現在のマネジメント・セミナーを当初の趣旨に戻すべきであるというよりも、図書系の知識を得る場を提供する必要性を改めて考えるべきではないか」、「現状では、マネジメント・セミナーはワークショップに比べて準備期間が長く、中長期的な視野を持った問題を扱うことができるが、ワークショップは準備期間は1か月程度と短く、企画時点で話題に上っている事柄を扱うことになる。この点で、両者の住み分けはできており、マネジメント・セミナー開催の意義は引き続きあると考える。一方、館長・管理職が図書系の知識を得る場を別途用意する必要性は認識している」、「マネジメント・セミナーやワークショップで扱うテーマは、大規模館にも中小規模館にも意義のあるものを選択してほしい」、「ワークショップについては、大学規模別の事例紹介を行うことなども検討してはどうか」等の意見があった。

マネジメント・セミナーと総会ワークショップの位置付け、館長・管理職に対する研修の機会提供等にかかる課題については、理事会で引き続き検討するとともに、本日の議論の中で来年度の総会ワークショップで生かせることは反映していくことにした。

#### (4) 協会の組織、機関、会則等の見直しについて

東京大学・高橋総務課長（総務委員会事務局）から、配付資料（No. 15-1～6）に基づき、会則・了解事項・申し合わせの間にある不整合、不明確な点について、申し合わせの改正・制定で対応する案の説明があった。理事館から「会則の解釈に係る申し合わせだけで対応するのではなく、会則そのものの改正が適当である」、「申し合わせ改正案の中で、わかりにくい表現があるので、修正すべきである」、「現在の会則には全体に亘って整理すべき点があるので、時間をかけて会則の改正を進めることが必要である」等の意見があった。

審議の結果、最終的には会則そのものの改正を目指すものの、来年度の総会に向けては申し合わせの改正と制定で対応することとし、「監事の選出について（申し合わせ）改正案」及び「理事会の開催について（申し合わせ）（案）」を原案通り了承したが、「委員会の設置について（申し合わせ）改正案」については文言などを見直した上で来年度の新理事会に再度付議することとした。

#### (5) 60周年記念資料の作成について

東京大学・高橋総務課長（協会事務局）から、配付資料（No. 16）に基づき、60周年記念資料の作成について提案があり、了承された。

#### (6) 平成25年度マネジメント・セミナーについて

東北大学・井上事務部長（人材委員会委員）から、当日配付資料に基づき、平成25年度国立大学図書館協会マネジメント・セミナーの企画について提案があり、異議なく了承され、人材委員会が準備を進めることとなった。

### 6. その他

古田会長から、新理事会議事要旨（案）、総括理事会議事録（案）について、訂正等がないか確認があり、案のとおり承認された。

## 7. 閉会

国立大学図書館協会  
秋季理事会出席者

平成24年11月13日(火)

14:00~17:10

九州大学附属図書館新館視聴覚ホール

北海道大学	館長 事務部長 管理課長	新田孝彦 片山俊治 杉田福夫
旭川医科大学	図書館情報課長	鈴木雅子
東北大学	館長 事務部長	植木俊哉 井上修
宮城教育大学	館長 学術情報課長	渡邊徹 佐藤初美
筑波大学	館長 副館長 情報管理課長	中山伸一 関川雅彦 内島秀樹
千葉大学	館長 利用支援企画課長	竹内比呂也 島文子
東京大学	館長 事務部長 総務課長	古田元夫 田中成直 高橋努

	情報管理課長	木下 聡
一橋大学	館長 学術・図書部長 学術情報課長	江夏由樹 加徳健三 小陳左和子
名古屋大学	館長 事務部長 情報管理課長	佐野 充 加藤信哉 高島 学
浜松医科大学	館長 学術情報課長	中原 大一郎 井上 恵美
京都大学	館長 事務部長 総務課長 情報サービス課長	引原 隆 士 栃谷 泰 文 大西 直 樹 相原 雪 乃
大阪大学	館長 事務部長 図書館企画課長	東島 清 奥田 正義 板谷 茂
広島大学	館長 副図書館長 図書学術情報企画グループリーダー	富永 一 登 甲斐 重 武 藤井 明
鳥取大学	館長 学術情報部長	矢部 敏 昭 木村 優
九州大学	館長 副館長	川本 芳 昭 吉田 素 文

事務部長	益 森 治 巳
図書館企画課長	渡 邊 俊 彦
利用支援課長	古 賀 幸 成
伊都地区図書課長	田 中 由 紀 子

宮崎大学	館 長	岩 本 俊 孝
	情報図書部長	上 村 茂 樹
	図書課長	黒 木 俊 弘

(監事館)

東京工業大学	館 長	宮 内 敏 雄
	研究推進部長	西 山 和 徳
	情報図書館課長	小 川 聡

福岡教育大学	館 長	大 坪 靖 直
	学術情報課長	林 田 宏 三
	学術情報課主査	豊 村 雅 義

(オブザーバ)

文部科学省研究振興局		
情報課学術基盤整備室	大学図書館係長	首 東 誠

国立情報学研究所	次 長	尾 城 孝 一
学術基盤推進部	学術コンテンツ課長	鈴 木 秀 樹
	図書館連携・協力室長	熊 渕 智 行